

報道関係各位 2026年3月22日

四日市チャレンジャー2026
公益財団法人 日本テニス協会

[取材のご案内]

テニス国際大会 四日市チャレンジャー開催

日程：2026年3月23日(月)～3月29日(日)、予選は22日(日)、23日(月)

会場：四日市テニスセンター（三重県四日市市）

四日市チャレンジャーは「ATPチャレンジャー」として開催されるプロの国際大会です。2019年に三重県初の国際大会として第1回大会が開催されました。ATPチャレンジャーには、将来のスター候補である若手・中堅や一時的にランキングを落とした国内外のトップ選手が参加、上位カテゴリーの「四大大会」に駆け上がろうと、しのぎを削ります。大会の初代王者は16年リオ五輪日本代表の杉田祐一、第2回の22年は綿貫陽介が優勝。前回の24年は坂本怜が18歳にしてプロ大会初優勝、その後も躍進を続けた坂本は今年の新世代オープンで四大大会初出場を果たしました。

三重県は国別対抗戦デビスカップ日本代表歴のある西岡良仁（津市）や伊藤竜馬（いなべ市）を生むなど、テニスが盛んな地。四日市工高卒の島袋将（岐阜県出身）も日本代表歴を持ち、23年ウィンブルドンで四大大会に初出場しました。高校テニスでは男子の四日市工、女子の四日市商が団体戦で、義基耀（四日市工）、丸山愛以（四日市商）らが個人戦シングルスで全国制覇を果たしています。そんな土地柄から、大会には毎回多くの観客が詰めかけ、ツアーを運営するATP（男子プロテニス協会）を喜ばせています。

今回は地元の誇りである島袋がエントリー。現在の世界ランキングは自己最高の110位と日本男子選手の最高位で、四大大会に予選免除で直接出場できる目安の100位を目指してこの大会に出場します。報道関係の皆様には、ぜひご取材にお越しいただきたく、ご案内いたします。

主催：公益財団法人日本テニス協会

後援：三重県 四日市市 公益財団法人三重県スポーツ協会、公益財団法人四日市市スポーツ協会

[本件に関するお問い合わせ先]